

【律令国家への道—2】 (教科書 p.39～)

(1) 改新後の国内情勢

① 対蝦夷政策の推移

- 孝徳朝の政策… (1 淳足柵) (新潟県、647年)、 (2 磐舟柵) (新潟県、648年)の設置
- 斉明朝の政策… (3 安倍比羅夫) が水軍を率いて秋田・津軽地方に遠征

② 白村江の戦い

a) 朝鮮半島と日本

- 唐と新羅が手を結び、周辺諸国へ侵攻 → 660年: (4 百済) が滅亡(扶余が陥落)
→ (5 齊明天皇) は百済救援を決定 *661年に齊明没。その後中大兄皇子が称制
皇極天皇が重祚
- 663年: 倭国の水軍は (6 白村江の戦い) で唐・新羅連合軍に大敗
→ この後、新羅は (7 高句麗) を滅ぼし、朝鮮半島を統一

b) 対策

- 防衛政策: (8 朝鮮式山城) ・ (9 水城) の建設・ (10 防人) の設置
- 豪族層の再編成…位階の増設 → 豪族の不満解消を図る

(2) 天智天皇の政治

- 667年: 中大兄皇子は (11 近江大津宮) に遷都、翌年 (12 天智天皇) として即位
- 670年: (13 庚午年籍) の作成…初の全国的戸籍。氏姓の根本台帳として永久保存。現存せず
- 671年(?): 近江令の施行…中臣鎌足らが編纂。存在を疑問視する説あり。

(3) 天武天皇の政治 (皇親政治のはじまり)

- 天智天皇の死後、 (14 大友皇子) と (15 大海人王子) による後継争い
天智の子 天智の弟
→ 672年: (16 壬申の乱) …大海人皇子が勝利
→ 翌年 (17 飛鳥浄御原宮) で即位し、 (18 天武天皇) となる
- 天皇権力の強大化…天皇の神格化、「天皇」号、「日本」国号の使用開始
- 681年: 飛鳥浄御原令の編纂…持統天皇の時に施行
- 684年: (19 八色の姓) の制定…天皇を中心とした身分秩序の再編成
真人・朝臣・宿禰・忌寸・道師・臣・連・稻置の八姓
- 律令・国史の編纂や銭貨 (= 富本銭) を鑄造 *飛鳥池遺跡(奈良県)

(4) (20 持統天皇) の政治…天武天皇の死後、が即位

天智の娘、天武の妻

- 689年: 飛鳥浄御原令を施行
- 690年: (21 庚寅年籍) の作成…最初の班田の台帳として作成
- 694年: (22 藤原京) に遷都…中国に倣った初の都城制の都。条坊制の採用